

現時点における条例素案の策定に向けた方向性と考え方

懇談会での主な意見（要旨）

- ・市民の自主・自立性に支えられた安全で安心なまちづくりが大切です。
- ・プライバシーにも配慮しつつ、日常の「気遣い合い」を基本に進めることが大切です。
- ・防犯活動は地域のつながりづくりにつながります。
- ・多様な価値観との共存は、住民議論で解決することが大切です。
- ・福祉などの他の分野との連携が大切です。
- ・地域の課題や実情に応じた取組を進めることが大切です。

基本理念の考え方

- ・地域活動の第一歩は家庭からです。
- ・市民は、防犯への関心を高めることが大切です。
- ・地域活動の立ち上げや参加のきっかけづくりが重要です。
- ・事業者も安全で安心なまちづくりの担い手です。
- ・札幌市は、安全・安心のためのメニューづくりを。

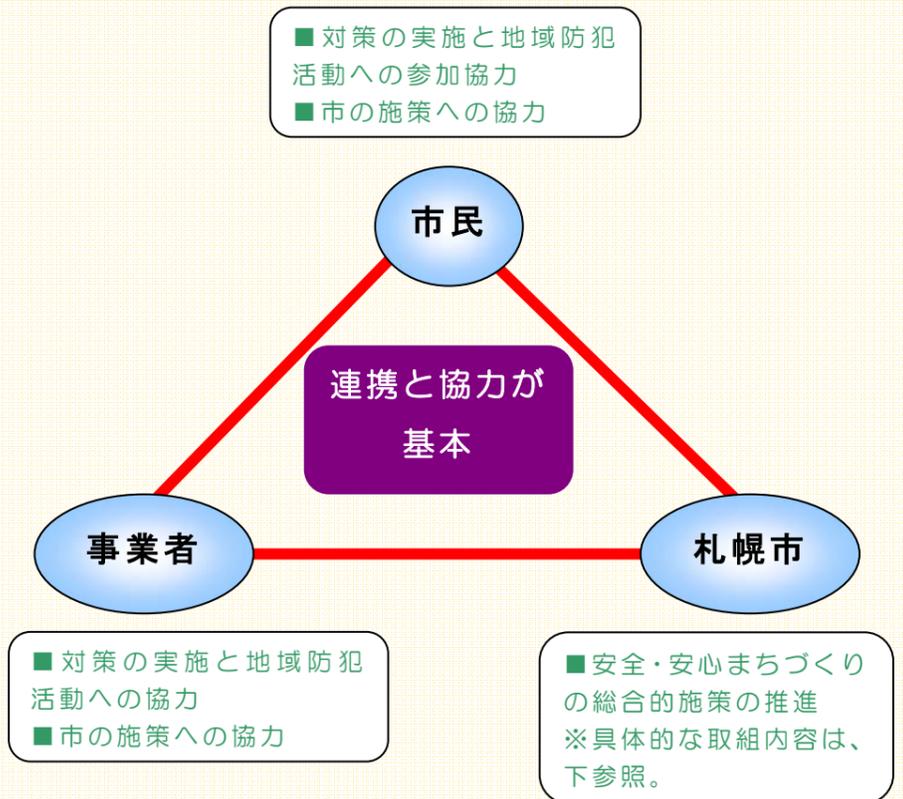
主体（市民・事業者・市）の役割

- ・様々な世代との連携促進を。
- ・地域ごとの取組や意識の差を埋めるためにも、参加のきっかけづくりを。
- ・活動への励みにつながる顕彰制度の創設を。
- ・犯罪情報の共有を妨げるバリアーの解消を。
- ・活動継続のための支援を。
- ・環境（ハード）の安全性の向上を。
- ・組織横断による安全・安心の推進を。
- ・犯罪被害者等の相談窓口の設置を。
- ・犯罪被害者等からの相談に適切に応じられる人材の育成を。

札幌市が進める基本的な施策

方向性と考え方

- 市民自治の精神の尊重
- 地域の特性や実情に応じた取組の推進
- 地域におけるさまざまな分野との連携
- プライバシーへの配慮とコミュニティの活性化



安全・安心なまちづくりの実現に向けたさまざまな啓発事業の実施

地域の皆さんが行っている防犯活動に対する支援の実施

犯罪の防止に配慮した環境（ハード）整備の推進

協議会の設置等、連携のための体制の整備

犯罪被害に遭ってしまった方に対する情報の提供、相談などの支援の実施

具体的な事業を盛り込んだ基本計画を策定し、社会情勢に柔軟に対応した施策事業を推進